

平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 福

上場会社名 サイタホールディングス株式会社
 コード番号 1999 URL <http://saita-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 才田 善之
 (氏名) 梯 久男

TEL 0946-22-3875

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	826	△18.9	△92	—	△66	—	△20	—
26年6月期第1四半期	1,018	63.7	9	—	7	—	3	—

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 △32百万円 (—%) 26年6月期第1四半期 7百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	△3.29	—
26年6月期第1四半期	0.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第1四半期	5,217	2,032	38.9	322.28
26年6月期	5,335	2,083	39.0	330.41

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 2,032百万円 26年6月期 2,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	5.7	140	10.2	110	△25.7	60	△64.9	9.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期1Q	6,610,000 株	26年6月期	6,610,000 株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	304,305 株	26年6月期	304,305 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期1Q	6,305,695 株	26年6月期1Q	6,307,050 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. 四半期建設事業受注の概況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込みの反動減の影響が、個人消費等を中心になお残存したものの、雇用や所得環境の改善などを背景に、マイナスの影響は徐々に和らぎました。増税後の反動減も徐々に一巡し、景気は緩やかながらも回復軌道に復帰しており、公共投資をはじめ企業向け減税、家計支援など景気対策が内需を下支えするほか、米国など堅調な海外景気や円安地合いを受けて輸出も緩やかに回復し、底堅い回復基調で推移するものと思われま

す。建設業界におきましては、政府等による公共投資は堅調に推移するものと見込まれ、企業収益の改善により設備投資も回復が期待されるものの、受注競争や建設コストの高騰により経営環境は、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは総力を挙げて受注活動を行うとともに、碎石製品等の販路拡張にまい進してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は8億2千6百万円（前年同四半期比18.9%減）となり、営業損失9千2百万円（前年同四半期は営業利益9百万円）、経常損失6千6百万円（前年同四半期は経常利益7百万円）となり、その結果、四半期純損失は2千万円（前年同四半期は四半期純利益3百万円）となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業形態として完成工事高が下半期、特に第3四半期に偏ることから、通期の業績予想に対し第2四半期までの売上高の割合が低くなるといった季節的変動があります。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

(建設事業部門)

当第1四半期連結累計期間の受注高は2億5千3百万円（前年同四半期比68.6%減）、完成工事高は2億8千3百万円（前年同四半期比38.0%減）、営業損失は4千3百万円（前年同四半期は営業利益2千9百万円）となりました。

(碎石事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は3億3千2百万円（前年同四半期比7.4%減）、営業損失は2百万円（前年同四半期は営業利益3千1百万円）となりました。

(酒類事業部門)

当第1四半期連結累計期間の売上高は8千7百万円（前年同四半期比2.4%増）、営業損失は1千4百万円（前年同四半期は営業損失1千6百万円）となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業部門の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億2千2百万円（前年同四半期比5.8%増）、営業利益は4百万円（前年同四半期比45.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は25億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ8千6百万円減少いたしました。これは主に現金預金1億3千万円減少したことによるものであります。固定資産は27億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千1百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が5千5百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、52億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千7百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は26億円となり、前連結会計年度末に比べ2千2百万円減少いたしました。これは主に支払手形・工事未払金等7千9百万円、短期借入金4千3百万円及び未払費用が5千4百万円減少いたしました。未成工事受入金6千4百万円及びその他が5千9百万円増加したことによるものであります。固定負債は5億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千3百万円減少いたしました。これは主に長期借入金4千2百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、31億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千6百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は20億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5千1百万円減少いたしました。これは主に配当金1千8百万円の支払及び四半期純損失2千万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.9%（前連結会計年度末は39.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期決算発表時（平成26年8月19日）に公表した通期の業績予想については現時点での変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,510,602	1,379,962
受取手形・完成工事未収入金等	785,866	792,036
未成工事支出金等	171,900	188,326
繰延税金資産	51,262	84,309
その他	90,187	74,957
貸倒引当金	△8,840	△4,770
流動資産合計	2,600,978	2,514,821
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	413,893	406,425
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	699,985	658,394
土地	755,470	755,470
リース資産(純額)	51,331	45,818
その他	54,862	53,988
有形固定資産合計	1,975,543	1,920,098
無形固定資産		
採石権	34,782	31,226
その他	3,754	3,742
無形固定資産合計	38,536	34,968
投資その他の資産		
投資有価証券	244,568	253,650
保険積立金	150,269	151,986
繰延税金資産	20,989	31,057
その他	371,299	378,152
貸倒引当金	△66,832	△66,825
投資その他の資産合計	720,294	748,020
固定資産合計	2,734,375	2,703,086
資産合計	5,335,353	5,217,908

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	521,132	442,095
短期借入金	1,633,888	1,590,470
リース債務	21,504	23,516
未払費用	114,814	60,664
未払法人税等	26,725	1,582
未成工事受入金	119,150	184,144
工事損失引当金	—	27,100
賞与引当金	8,737	34,950
その他	176,858	236,053
流動負債合計	2,622,811	2,600,578
固定負債		
長期借入金	430,498	388,164
リース債務	37,234	29,686
退職給付に係る負債	127,572	133,644
役員退職慰労引当金	27,102	27,532
その他	6,693	6,087
固定負債合計	629,099	585,113
負債合計	3,251,911	3,185,691
純資産の部		
株主資本		
資本金	942,950	942,950
資本剰余金	716,574	716,574
利益剰余金	476,650	437,005
自己株式	△35,648	△35,648
株主資本合計	2,100,526	2,060,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,650	3,774
為替換算調整勘定	△15,435	△32,439
その他の包括利益累計額合計	△17,085	△28,665
純資産合計	2,083,441	2,032,216
負債純資産合計	5,335,353	5,217,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高		
完成工事高	457,921	283,776
兼業事業売上高	560,888	542,948
売上高合計	1,018,809	826,724
売上原価		
完成工事原価	411,126	296,448
兼業事業売上原価	442,202	465,056
売上原価合計	853,329	761,504
売上総利益		
完成工事総利益又は完成工事総損失(△)	46,794	△12,672
兼業事業総利益	118,685	77,892
売上総利益合計	165,480	65,220
販売費及び一般管理費	156,031	157,242
営業利益又は営業損失(△)	9,448	△92,022
営業外収益		
受取利息	172	160
受取配当金	9	9
固定資産賃貸料	1,019	999
持分法による投資利益	4,126	3,802
貸倒引当金戻入額	1,501	4,301
為替差益	—	23,034
雇用調整助成金	645	—
その他	3,230	2,554
営業外収益合計	10,706	34,862
営業外費用		
支払利息	7,954	7,632
為替差損	2,682	—
その他	2,005	1,864
営業外費用合計	12,642	9,496
経常利益又は経常損失(△)	7,512	△66,656

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	3,016	178
特別利益合計	3,016	178
特別損失		
固定資産除却損	—	0
減損損失	4,700	174
特別損失合計	4,700	175
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	5,828	△66,652
法人税、住民税及び事業税	1,180	809
法人税等調整額	1,527	△46,733
法人税等合計	2,708	△45,924
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	3,120	△20,728
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,120	△20,728

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	3,120	△20,728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,892	5,424
為替換算調整勘定	1,599	△17,004
その他の包括利益合計	4,492	△11,579
四半期包括利益	7,612	△32,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,612	△32,307
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	457,921	359,383	85,621	902,927	115,882	1,018,809	—	1,018,809
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,100	7,363	281	15,744	9,240	24,985	△24,985	—
計	466,021	366,747	85,903	918,671	125,123	1,043,795	△24,985	1,018,809
セグメント利益又は損失 (△)	29,581	31,045	△16,117	44,509	7,906	52,416	△42,967	9,448

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業及び警備事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額42,967千円には、セグメント間取引消去24,985千円、各報告セグメントに配分していない全社費用17,981千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
「その他」セグメントにおいて、工具器具備品等の減損損失4,700千円を計上しております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	283,776	332,639	87,711	704,126	122,597	826,724	—	826,724
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	9,783	314	10,097	5,049	15,146	△15,146	—
計	283,776	342,423	88,025	714,224	127,646	841,871	△15,146	826,724
セグメント利益又は損失 (△)	△43,765	△2,573	△14,447	△60,786	4,349	△56,436	△35,586	△92,022

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業及び警備事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額35,586千円には、セグメント間取引消去15,146千円、各報告セグメントに配分していない全社費用20,439千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 四半期建設事業受注の概況

(株式会社才田組受注高)

	受注高	
	千円	%
平成27年6月期第1四半期累計期間	197,512	△72.9
平成26年6月期第1四半期累計期間	730,011	144.8

(注) ・受注高は、当該四半期までの累計額であります。
 ・パーセント表示は、前同四半期比増減率であります。

受注実績内訳

			平成27年6月期 第1四半期累計期間		平成26年6月期 第1四半期累計期間		比較増減	増減率
			千円	%	千円	%	千円	%
建設事業	土 木	官公庁	165,315	83.7	712,725	97.6	△547,409	△76.8
		民 間	30,896	15.6	17,286	2.4	13,610	78.7
		計	196,212	99.3	730,011	100.0	△533,799	△73.1
	建 設	官公庁	—	—	—	—	—	—
		民 間	1,300	0.7	—	—	1,300	—
		計	1,300	0.7	—	—	1,300	—
	合 計	官公庁	165,315	83.7	712,725	97.6	△547,409	△76.8
		民 間	32,196	16.3	17,286	2.4	14,910	86.3
		計	197,512	100.0	730,011	100.0	△532,499	△72.9

(注) ・パーセント表示は、構成比率であります。